



新潟県

新潟県中越大震災における農地被害と復旧に向けた取組み	農地管理課総合調整室	1
長岡管内における7.13梅雨前線豪雨災害の概要	長岡地域振興局農林振興部	3
トキの餌場づくりエコアッププロジェクト	佐渡地域振興局農林水産振興部	8
見つめよう！地域の「たからもの」	十日町地域振興局農業振興部	11
住民参加の農村公園づくり！	六日町地域振興局農林振興部農村整備課	13
新田開発の歴史に想うこと	柏崎市役所国営土地改良事業推進室 徳永忠正	15
阿賀野川右岸地区における用水路施設の老朽化と補修工法	新発田地域振興局農村整備部農村整備課 小川 守	18
「佐渡だっちゃ村」営農記録	佐渡地域振興局農林水産振興部	22
調整室だより		26

農地情報

平成16年12月3日
発行・編集 新潟県農地部
第77号

新潟県中越大震災における農地被害と復旧に向けた取組み

農地管理課総合調整室

被害の状況とこれまでの経過

10月23日に最大震度7を記録した新潟県中越地震の発生から1か月以上が経ち、被災市町村においてはライフラインの復旧が進むと同時に、農地・農業用施設の甚大な被害の詳細が明らかになってきた。

山古志村をはじめ山間部の一部地域では、道路の崩壊・土砂崩れ・土石流等の危険から、依然として被災状況の確認が困難な箇所もあるが、現在の被害状況（推定含む）は被害箇所14,848箇所、総額89,518百万円にのぼる。山間地においては棚田が原形をとどめないほどに崩壊し、ため池には堤体の亀裂・底樋の損壊などが見られた。また平場においても取水施設の損壊、田面の隆起・沈下・亀裂、農業集落排水施設では管路の沈下・マンホールの浮上などが随所で確認された。（次ページに各地の被災状況を掲載）

復旧に向けての取組み

初期対応として新潟県農地部では、国・関係機関の協力を得て、2次災害が起きないようにため池等の緊急点検と応急対策、ライフラインである集落排水施設の調査、仮設トイレ設置やバキュームの手配などを行ってきた。

また、降雪時期を間近に控え、復旧計画を早期に作成するため、国を通じ全国に技術者の支援要請を行い、多数の応援を得ることができた。現在、被災市町村を直接支援するため、全国から続々と応援部隊が乗り込み、被害調査・測量等を行っている。

今後、農地部と農林水産部とが連携して設置した「県農林水産業経営再建支援プロジェクトチーム」により、来春の作付けに向けた取組み（農地・施設の復旧、代替用水の確保、営農上の問題解決等）を行う。その他、ECHIGO棚田サポーター・新潟県農村振興技術連盟・水土里ネット新潟などの県内関係機関においても、農業土木の専門家からなる「ふるさと・水土里の再生支援隊」を結成し、復興に向けた活動支援を行っている。



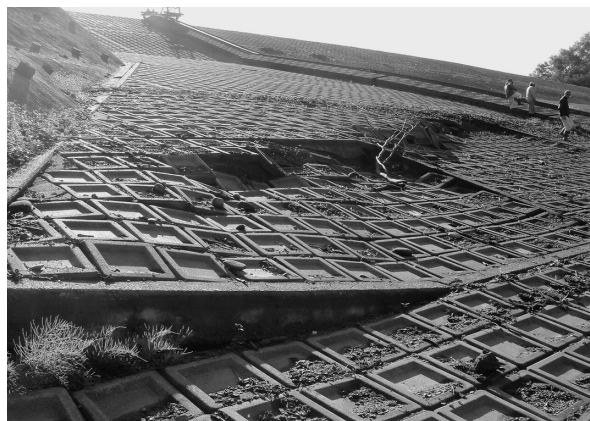
集落排水のマンホール浮上（柏崎市）



同じく管路の沈下状況（柏崎市）



ため池内に生じた亀裂（長岡市）



川西ダム提体の一部崩落（川西町）



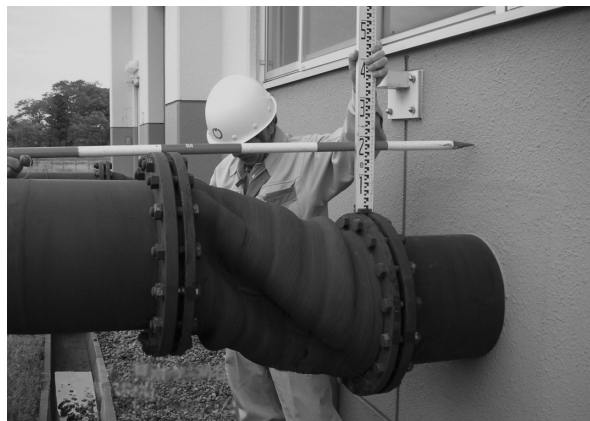
ほ場内の亀裂（小千谷市）



農地の亀裂、液状化による噴砂（魚沼市）



広域農道の被災状況（魚沼市）



パイプライン加圧機場・吸込管の変形（見附市）